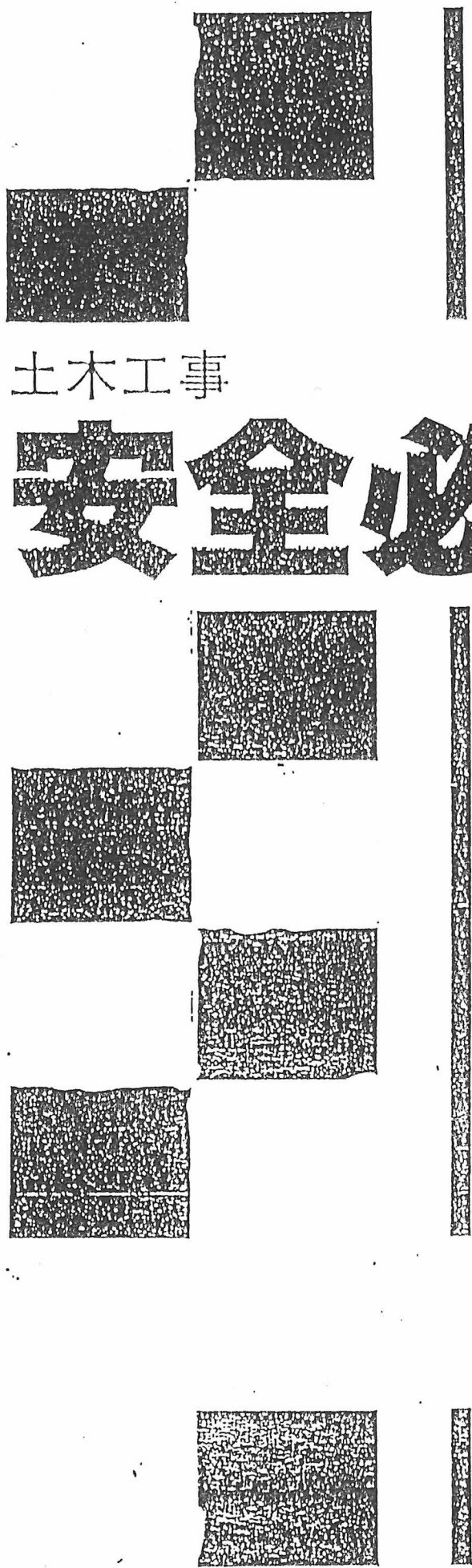


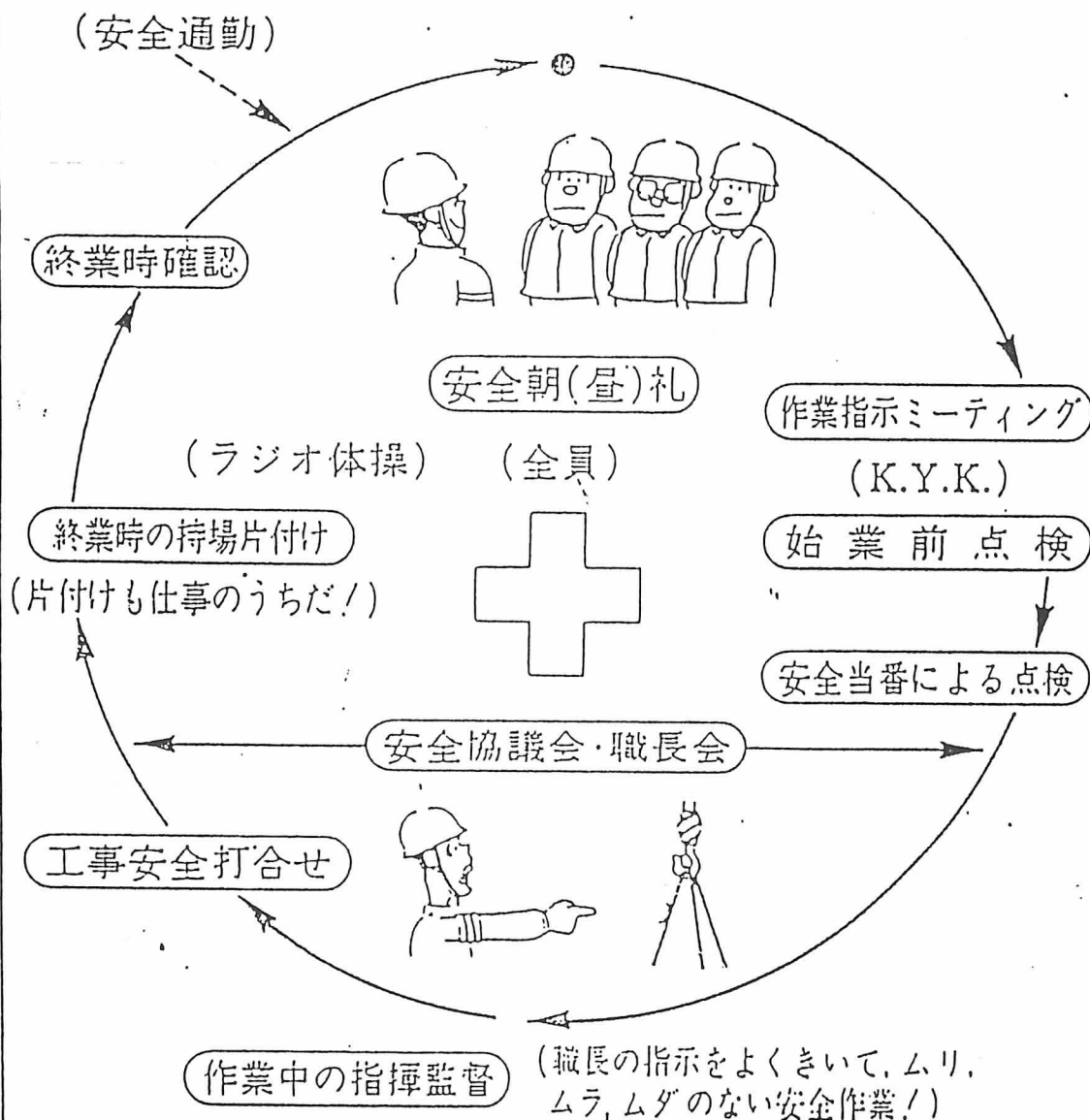


土木工事

安全必携

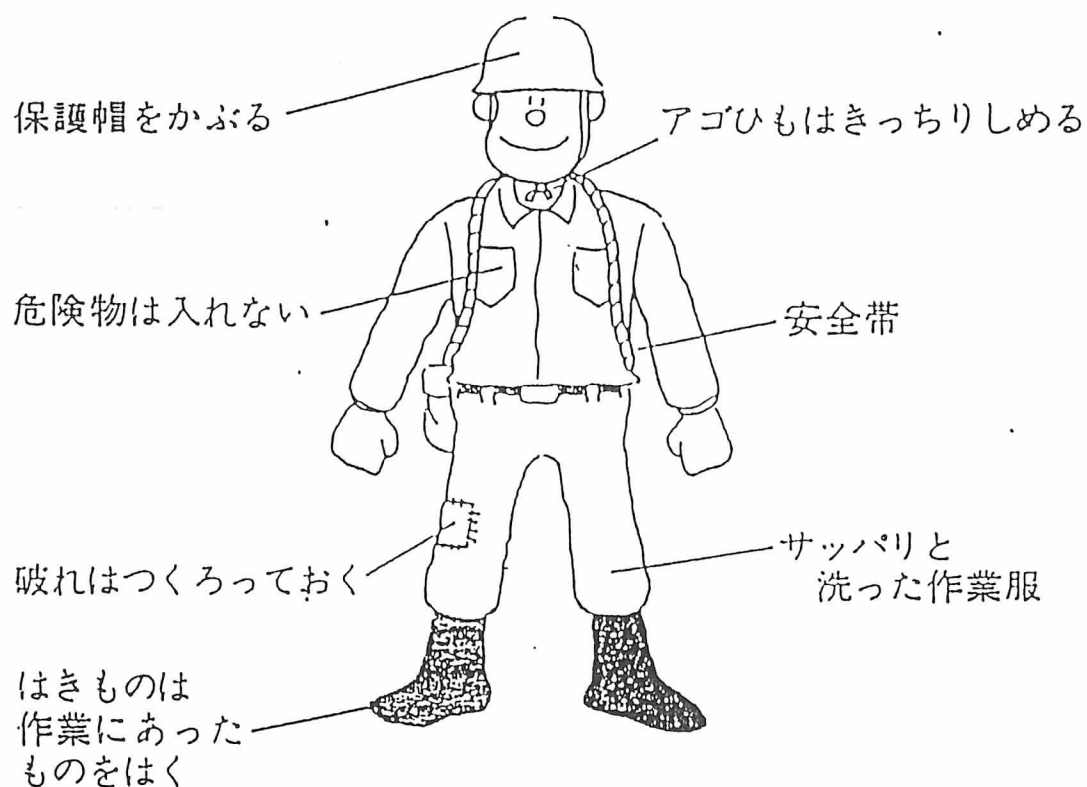
一	日	の	安	全	作	業
---	---	---	---	---	---	---

安 全 朝 礼	毎朝	時	分
特 別 安 全 日	月	回	毎月 日 ()
作業終了時片付け	毎日	時	
一 斉 片 付 け	毎月	日	曜日

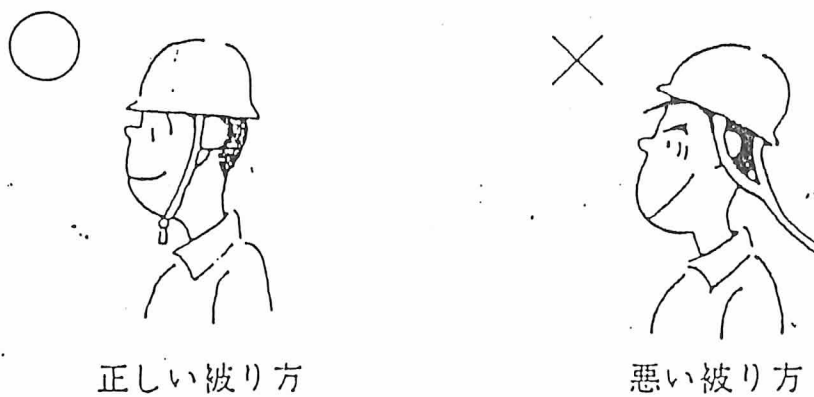


1 服装・保護具

■正しい身なりで仕事をしよう



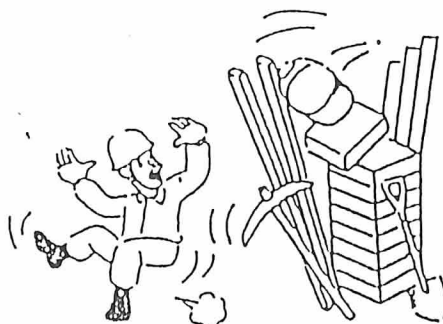
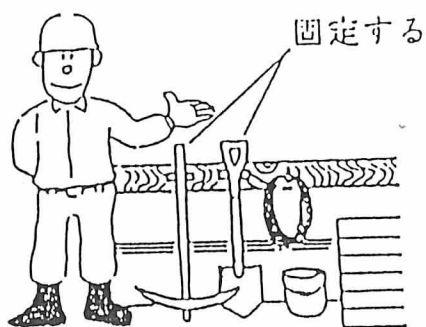
■保護帽は、あごひもをきちんとしめ正しく着用しよう。



■手袋は指示された種類のものを使用する。
(手袋の使用を禁止された作業には使わない)

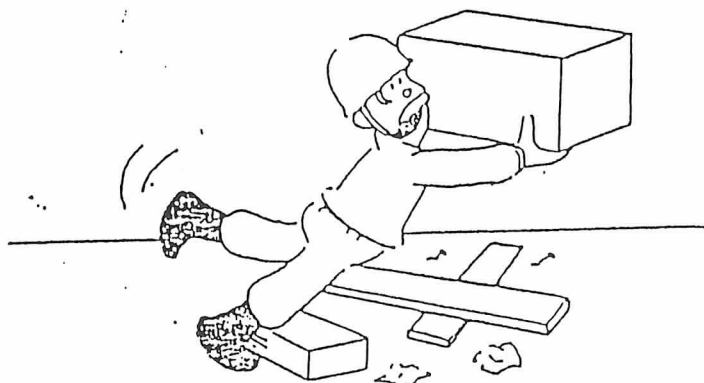
2 整理 整頓

■作業床、材料置場などは、いつもきちんと整理整頓して作業しよう。



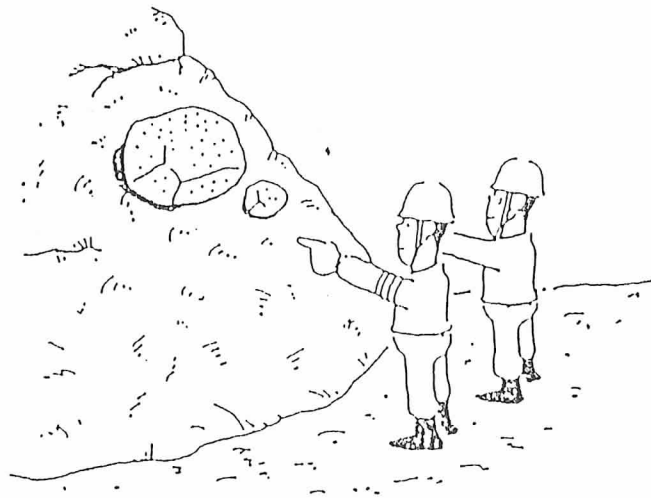
3 作業通路

■通路は安心して歩けるようにいつも、つまづき、すべり、踏抜のないようにしよう。



4 掘削

- 浮石や、き裂、湧水がないかよく見てから作業にかかる。
- 作業主任者の直接指揮で作業する。

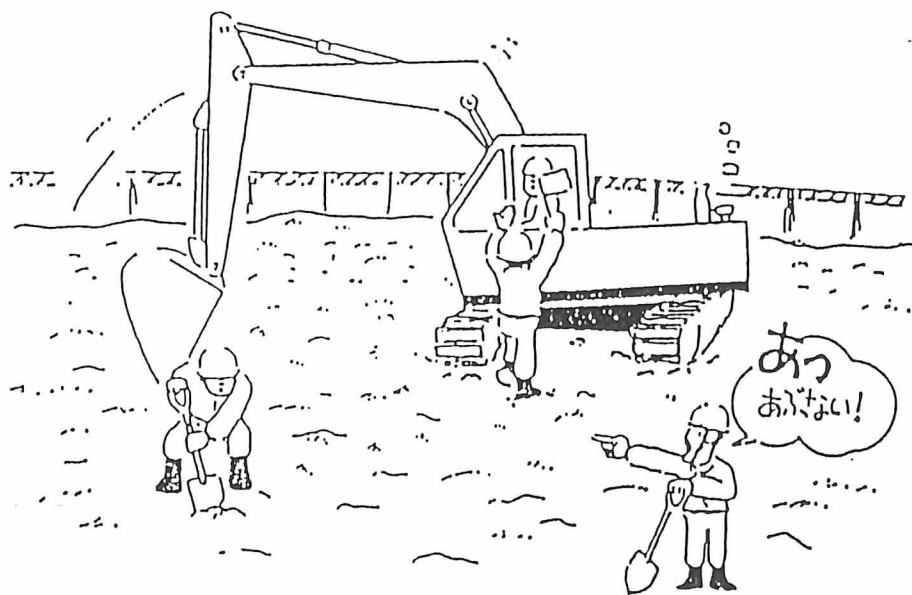


- 指示された通りの法勾配・深さ・高さで掘削する。
- 土止め支保工は指示された手順通りに、組立・変更・撤去する。



5	ク	レ	ー	ン	・	重	機	・	車	輛
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

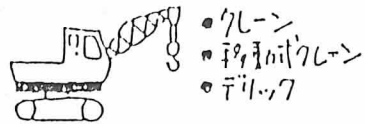
■クレーン・重機・車輛作業の危険範囲は立入禁止柵をきちんとし、誘導員の指示に従う。



- ④ クレーン・重機・車輛作業半径内など立入禁止箇所に入らない。
- ⑤ 立入禁止箇所に入る場合は、誘導員・運転者に連絡し、危険のないようにする。

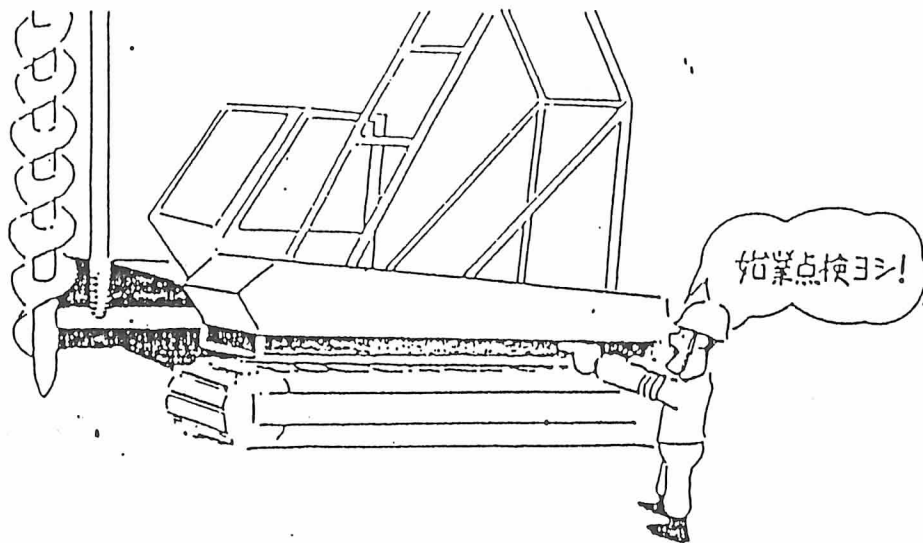
★資格証は必ず携帯する。

■指名された資格のある運転者以外は操作しない。

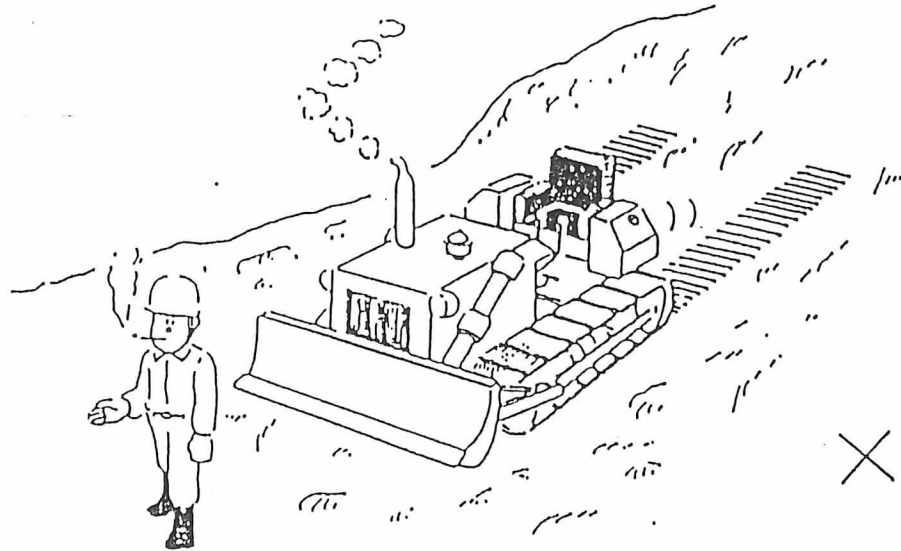


■運転者は必ず始業点検を行う。

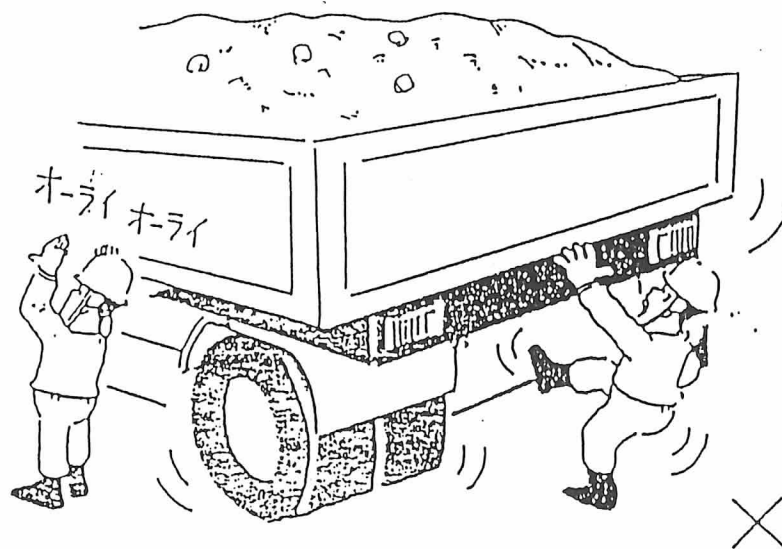
■運転時は前後・左右の確認をし、誘導員の誘導に従う。



■運転席を一時離れる時は、作業装置をあずけ、安全ロックし、キーを放置しない。



■誘導員は運転者・周囲のよくみえる安全な位置で誘導する。



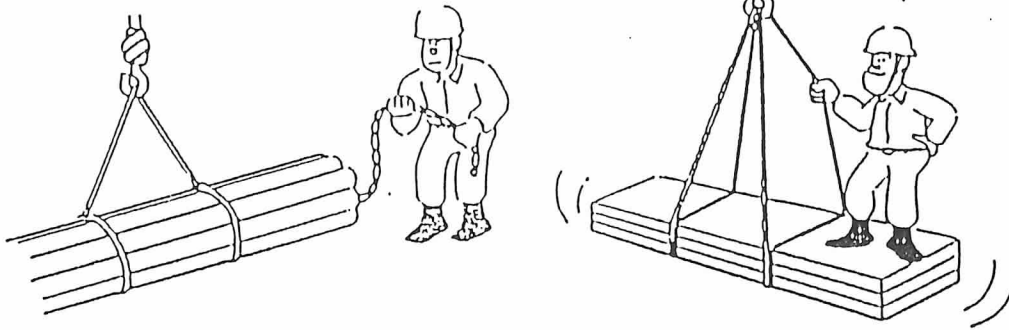
6 玉 掛

■玉掛作業は資格を持った人以外はやらない。

- クレーンのアーム、ワイヤー内角側で作業しない。
- ワイヤー等の使用前点検はすること。

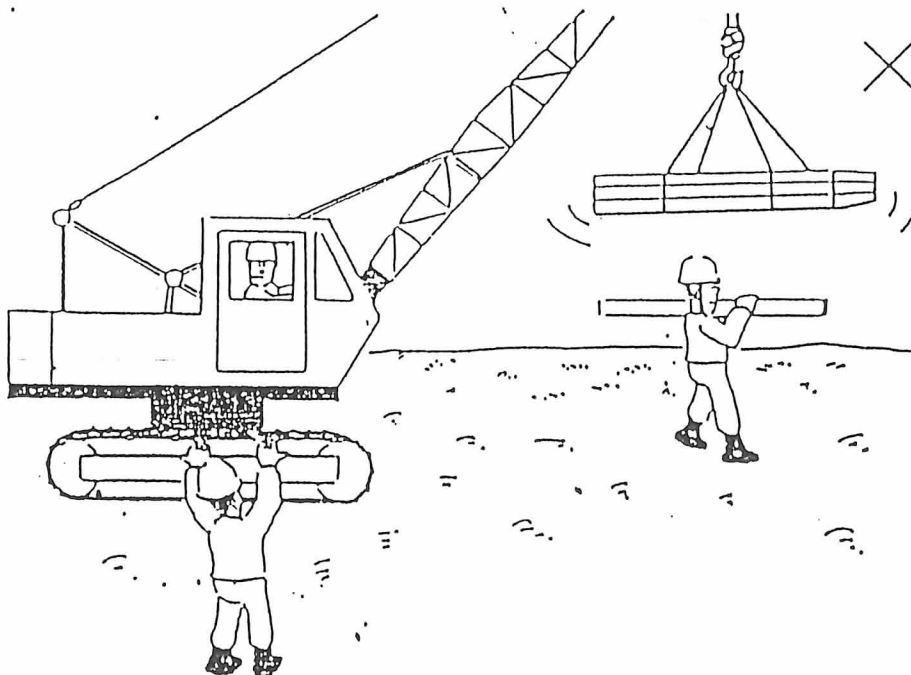
- 長いものなどはロープで
カインャク綱をとる

- 吊り荷の上には
絶体にはのるな！



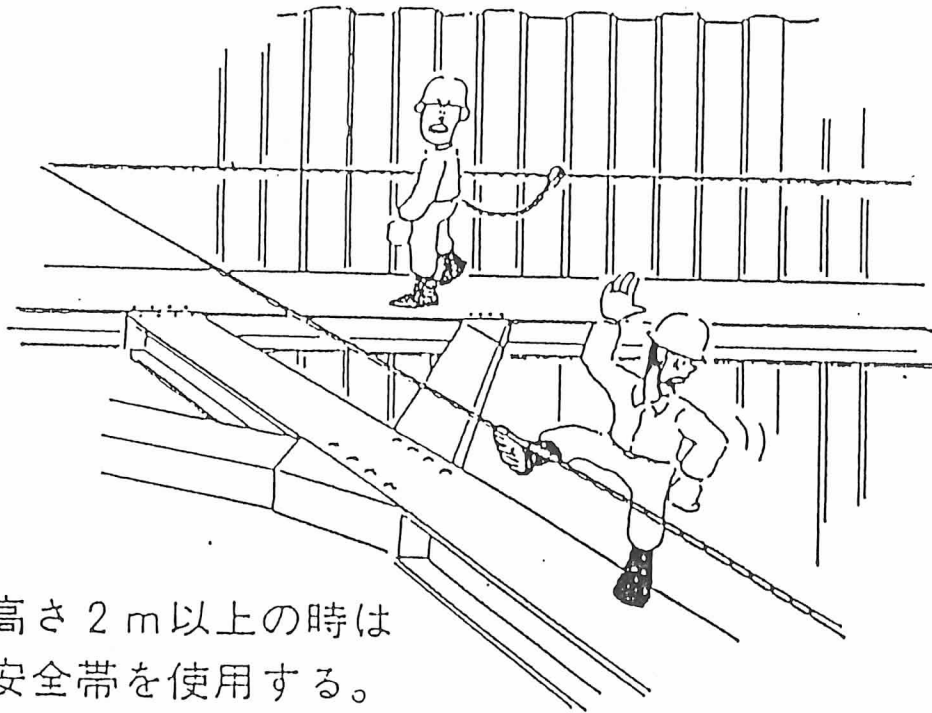
■合図は指名された合図者がする。

- 作業前に運転者と合図の方法を確認する。
- 合図者は運転者の見やすい位置に立つ。
- 吊荷の下作業員を退避させる。



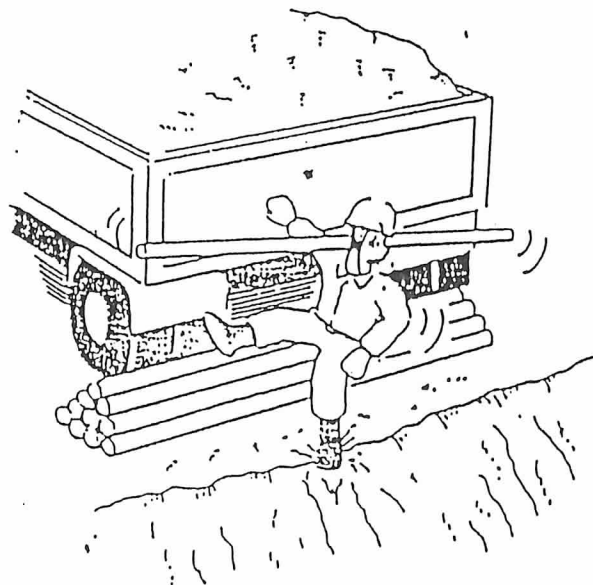
7 墜落防止

■作業床・足場・棧橋・開口部の手すり・巾木・かこいは安全を確認してから作業する。



★高さ 2 m 以上の時は
安全帯を使用する。

■ガケ、斜面からの墜落に十分注意する。



8 取扱い運搬



■あらかじめ運搬通路を確保しておく。

■手もと、足もとを固めて腰でバランスをとる。

■共同運搬作業では合図を定め、互いに声をかけあう。

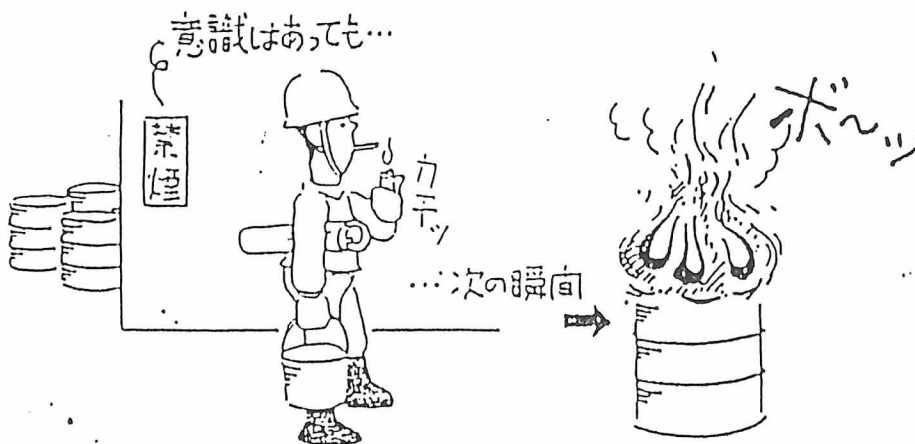
9 爆発・火災

■火気を使用する際は消火器等を置き、火気取扱責任者の指示に従い、残火の始末を確実にこなう。

■火薬、燃料、ボンベなど危険物は決められた者が扱い管理する。

■タバコは所定の位置で吸い、灰皿に捨てる。

■スプレーの罐は使用後穴をあけて捨てる。



10	職	業	病	防	止
----	---	---	---	---	---

■粉じん作業や騒音作業では防じんマスクや耳栓を使用する。
(特別教育が必要)

■振動作業では連続作業を行なわない。
(教育が必要)



★粉じん作業での保護具は完全にしましょう。

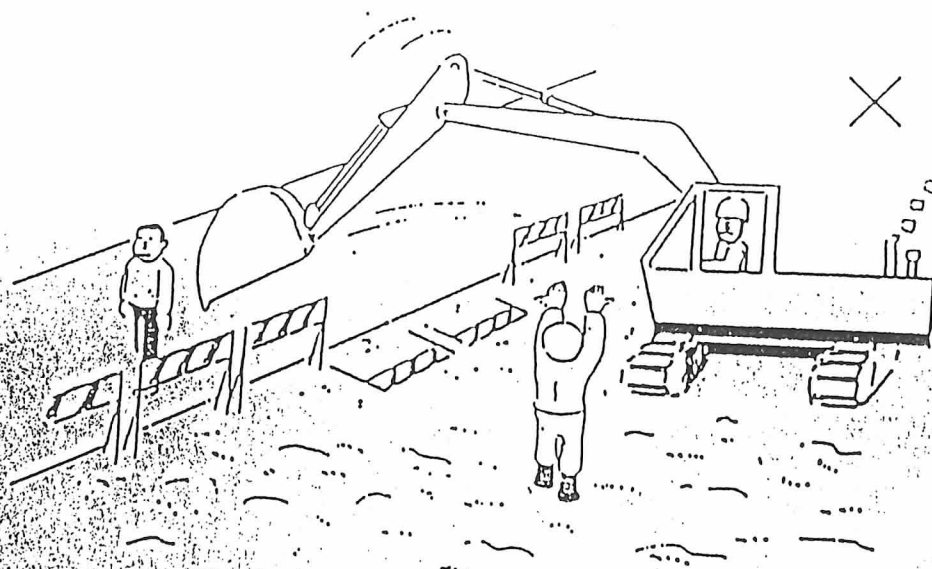
11	酸	素	欠	乏	症	防	止
----	---	---	---	---	---	---	---

■タンク内、坑内、マンホール等での作業は必ず事前に酸素濃度を確認、十分換気してから作業にかかる。
(特別教育が必要)

- ④ 酸素欠乏危険場所は、選任された作業主任者の指揮により作業を行う。
- ④ 測定器具、空気呼吸器等の器具も点検する。

12 第三者災害防止

- 誘導員は必ず配置し、その指示に従う。
- 歩行者通路はいつもきちんとしておく。



- ① 重機車輛等が作業場へ入る時、出る時は、第三者および周囲に十分注意する。
- ② 第三者が作業場へ入らないように、立入禁止の処置を必ずする。
- ③ 特に子供が作業場に入らないように十分注意する。

13 指差呼称（喚呼）KYとは

■ 危険予知(KY) と 指差呼称 をドッキングさせたものです。

- 始業時のKYミーティングにおいて「私達はこうする」と決めた行動目標を確認し「〇〇ヨシ！」と指差呼称することをいいます。

指差呼称KY活動表

どんな危険があるか	 足場より落ちてけがをする
私達はこうするヨシ！	 安全帯を必ず使用する

(現状把握)

どんな危険がひそんでいるか



(問題点)

これが危険のポイントだ



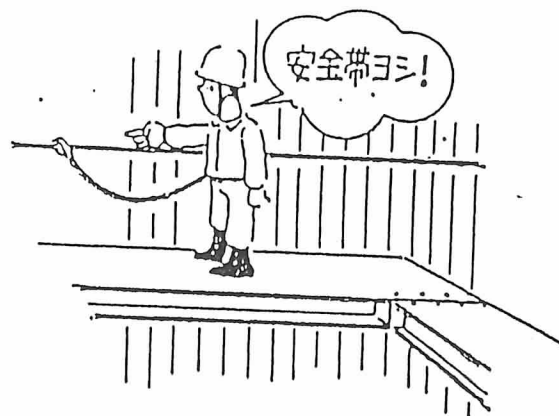
(対策樹立)

あなたならどうする



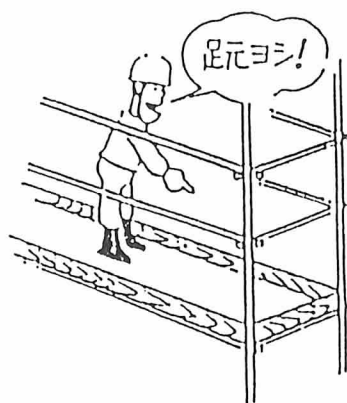
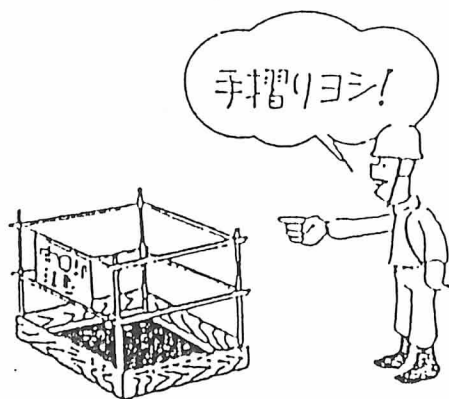
(目標設定)

私達はこうする

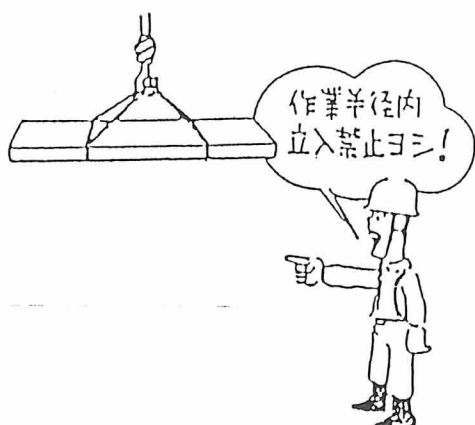


14 日常の指差呼称（喚呼）の例

■ 墜落災害防止



■ 重機災害防止



■ 土砂崩壊災害防止

